

第3回 加西市スマートシティ推進会議

開催日時	令和6年12月9日（月）午後2時00分～4時00分
開催場所	加西市役所 1階多目的ホール

出席委員の氏名

岡田 美佳	木南 晴太	高井 淳匡	田畑 豊史
東根 光児	西尾 信彦(会長)	西村 雅吉	藤中 亮太
蓬莱 眞子	水田 善久	宮本 博文	

出席した事務局職員の氏名及びその職名

深江 克尚	加西市 政策部長
大賀 暁	加西市 C I O 補佐官
山岡 和宏	加西市 政策部情報課 課長
伊藤 陽子	加西市 政策部情報課 主幹
馬渡 隆行	加西市 政策部情報課 係長
小山 映	加西市 政策部政策課 まちづくり推進員
(事務局補助)	電通西日本

会議概要

- 議事
 - 前のご意見と本会議の目的確認（資料 P1～7）
 - スマートシティ推進組織のあり方（資料 P8～15）
 - スマートシティ推進組織の概要（資料 P16～20）
- 資料
会議次第、委員名簿、資料
- 会議の経過
別紙「第3回加西市スマートシティ推進会議の経過」のとおり

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	<p>1 挨拶</p> <p><会長あいさつ></p> <p>お忙しい中、3回目の推進会議にお集まりいただき推進方策の柱をどうするのかしっかり議論したい。事務局が会場レイアウトを工夫されたので、できる限り皆さんのご意見を出していただくようお願いする。</p>
事務局	<p>2 議事</p> <p>(1) 前回ご意見と本会議の目的確認(資料 P1~7)の説明</p>
会長	<p>まず、前半は前回の会議での皆さんのご意見の振り返りで、議事録も配られているので、間違いはないかと思うが、もう少し付け加えたいところや誤解があればご質問・ご意見等をいただきたい。</p> <p>後半の推進組織のあり方については、来年度以降の推進協議会の準備のための推進会議であり、それを進めていく上での課題とデジタル技術、およびデータ連携基盤との関係性が最後の図で示されていると思う。何かお気付きの点やご質問とかあればご自由に発言をお願いします。</p> <p>実証事業が最後に書いてあるが、デジタル化フェアの年度内開催も実施するということか。</p>
事務局	<p>実証ではないがデジタル化フェアを行うこととしている。</p>
会長	<p>実証事業に位置付けられるわけではないと思うが、本年度並行して実施するということか。</p> <p>前回、委員の農業でとても盛り上がったが、それ以外のところでも、学校の選択肢があまりないという教育の話や、介護の手が足りないという話が重要だったと思っている。</p> <p>前回の話の中では、デジタルデータ活用やデータ連携基盤の話はあまり出てこなかったような気がする。ねっぴ~Payとかを活用するという話となると商業的、経済的なところの後押しや連携が必要になると思われる。</p> <p>特になければ、事務局で今後の推進組織のあり方をまとめていただいているので、この後の議論が本題だと思われ、そちらでご意見いただくことにして、(2)の方に進めることとしたい。</p> <p>では、スマートシティ推進会議のあり方について事務局資料の説明からお願いします。</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	<p>(2) スマートシティ推進組織のあり方(資料 P8~15) についての説明</p>
会長	<p>これまでの議論を経て、特に前は加西市が抱える課題から何をすべきかという話を中心にしてきた。課題の顕在化と、それに対してどうすべきかというところが整理されている。施策の方向性として4つ。取り組み分野として10個(P10にまとまっている内容)。来年度以降の協議会ではこれらをカバーしていくということをまずは考えている。また、それをどう進めていくかということで、4本柱がP12に書かれている。</p> <p>まずは直接実証していくというのが1番、アウトリーチとしての普及活動が2番、人材育成が3番で、システムの管理、運営が4番となっている。これらは、個別にこの後、資料に載っているが、例えば2番と3番が同じページに書いてあるように、これらは縦割りではなく関係し合っている。例えば1番である実証に4番のシステムを使うなど、あまり厳密に分けるということは考えなくてもよいと思われる。</p> <p>前は特に1で何をやるべきかというところに傾注していたが、こういう事業立てでいいかということ等、是非ご意見いただければと思う。</p>
委員	<p>最初に振り返りの議論として、私が第1回会議で言ったことが依然はっきりしないところがある。これまでの議論だと、印象に残っているのはまず農業であり、教育の話であり、介護の話だった。とても儲かる農業にする、とても面白い人材が生まれるような教育、人材育成システムをつくる、介護だったら、介護する側も、される側も、どちらも笑顔になる、こんな環境をつくるということが介護の世界では必要となる。</p> <p>このように、それぞれの分野で目指すべき姿、将来像みたいなものがあると思うので、そういうところまで、少しブレイクダウンした方がいいと感じている。市民視点からすると遠い感じのするビジョンなので、もう少しみんながいいよね、と思えるような未来を描くために議論してほしい。</p> <p>2点目として9ページ、10ページの辺りを見て、きれいに整理されていていいとは思いますが、なにか大事な所が抜けている気がしている。1回目か2回目で伝えたと思うが、動きそうなプロジェクトをまず動かしてみる。その中で、何をやっていくのかを議論する会議体が必要になるという考えで進めていく方がいい。例えば農業、教育、介護ならここに各委員がいる。そういう自らエンジンを積んでいる人を中心に</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>して、農業 DX 推進会議、推進チームのようなものをつくる。まずどこまでできるのか色々動かしていく中で、横串刺して、全体の会議体も要るといった話になったら、推進会議、推進協議会みたいなものができていくといった方が、エネルギーを持って活動できると思う。演繹的に体系化し課題を整理して、トータルな課題に対応する協議会をつくり、その下に何かチームを作っていくといった発想とは逆のアプローチにした方が、物事が進むのではないかと考える。</p> <p>言い出すと切りがないが、あと2点。教育に関しては、手法の話しか出てない気がする。デジタル教育すること自体が目的ではないと思う。私は割と野山を駆け回って育った方であるため、いまだに山登りとかが趣味だが、逆にこういう世の中になったからこそ、今大事なのは子どもの野生化であると考えている。そうでないとデジタルの世界だけで勘違いしてしまうような子どもが育ってしまうような危惧を、ますます最近持っている。加西はそういうことができる場所。神戸から来るとき、急に平野が開けて、空が広い、すごくいい場所だと思っており、こういう空間だからこそ、伸び伸びと大空の下で育つ。野山も駆け回れる。なんなら自分で火おこしたりして、一晩、真っ暗の中、歩いても大丈夫だったり、そういう教育もあっていいと思う。それを実現するためのツールがデジタルであるということで位置付けていかないと、デジタル化を目的にすると違うと感じる。</p> <p>また、スマートシティ推進会議という名前は変更してほしい。県でもスマートシティモデル事業をやっていたが、いまいち通じないと感じている。自治体行政 DX・地域社会 DX を合わせて地域 DX とするが、これが分かりやすい言葉かどうかという議論はあるが、スマートシティよりはまだ通じるのではないかと感じる。スマートシティだとまちの話と思われ、脱炭素の話が入ってないなど少しミスリードを起こすような場面が生まれる可能性がある（多々経験している）。この名前をどこまで使い続けるのか、再考いただきたい。</p>
会長	<p>まず1点目は、ビジョンがあやふやであり明快ではない。みんなにとって魅力がないといわれるビジョンについては9ページの一番下に4つあります。私はこれを否定する必要はないと思う。</p> <p>ミッションではなくてビジョンであるため、どこまで具体的にするかというのは、それぞれだと思う。例えば、農業でこれだけ人を引き付けて、お金儲けをしてというのはミッションだと思われる。この会議の中で種をまいて来年度以降動かしていくということであれば、そのためのワーキンググループができてビジョンにつながればよいと考</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>えている。ビジョンについてはきれいに書けており、大体皆さんの意見を拾っているのですが、この会議のバックグラウンド（背景）としてとらえる一方、絵についてやはりオブジェクトが必要であり、背景とどうつながっているのかという理論を後で付ければよいと考えてはどうか。</p> <p>2点目については、バックグラウンドがあり、そこからひねり出すのではなく初めにやるべきことを議論し、種をまいて、その種がきちんと根が張れるようなビジョンへとつながっているのかという関係の整理をしておくよと考える。ただし、来年の教育 DX の立て付けもあるため、ここは種まきぐらいではないかと考えており、今年度どこまで具体的に詰めておくべきかというのは、そこまでなくてもよいのではないかと思う。ただ、スピード感は必要で、今やるべきことと後ほどやるべきことを分けておくことは、今のうちにやっておいた方がいいと思う。</p> <p>3点目の教育の野生に帰るという内容については、最近文科省が言っている生きる力というものだと思っており、一つの方法であり、たくさんあるデジタル技術を自分で選んで活用していくのも、生きる力の一つだと思っている。野生に帰るとするのは神戸とは違っていいかもしれない。昨日まで行っていたオクラホマはだだっ広い原野で、何も無いところで日が昇ってくると全面朝焼けになるのがとてもきれいだった。恵まれているところはうまく出した教育ができればいいし、恵まれないところでデジタルを活用するというのがよいと思う。デジタルを使った教育だけではなくて、例えば柱の中にあるような研修会やセミナーなどを野外でやるなど、デジタルにとらわれず野生になってくれる機会もあると思う。</p> <p>4点目の名前を変える件については、委員が第1回でその話をされたので、私も早速地域 DX という言葉を使っている。名前を変えていけるのかどうかは市の判断であり、そういう意見が会議であったということを残せばよい。</p>
委員	<p>会長に反論があり、10 ページに違和感がある。おそらくこれが機能してないのに、その機能のままここにぶら下がっている状態がものすごい違和感がある。10 分野があるとして、これを残すならこれを残すでもよいのだが、課題解決アプローチの展開図は、その 10 個の取り組み、10 分野の横串を刺す「課題解決アプローチ」というものがあると思う。例えば教育でいうと、次世代につなぎ育む教育とは、子育て支援や次世代型人材の育成だけではなくて、実際は今の行政職員、議</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>員、社会人も、リスクリングをしていかなければならないはずである。そうすると産業分野も、福祉の分野も、農業の分野も、子どもの分野も含めて、教育というものが1本横串で、違う角度のものが必要だと考えている。</p> <p>10 ページの下方にあるものは行政の管轄で縦割りにした10分野だと思う。これは実際にその機能でサイロ化されている状態だが、行政として対応できなくなっている現実があるため、スマートシティや地域DXのような形で、解決対策が必要ということになっていると思う。つまり、行政の管轄の分野のまま、縦割りで切ってしまうのは、すごく違和感がある。</p>
会長	<p>だからこの10分野はバックグラウンドだと思う。この上にやりたいことがあれば、それがどこにつながるのかというラインをはっきりさせると、誰が動かないといけないのではないかと見えてくる。それだけを使えばよいのではないかと考える。</p>
委員	<p>そういう意味では、課題解決アプローチの展開図と描いている絵が自分の中でつながらない。</p>
会長	<p>やりたいことをきちんと浮かべて、どこにグラウンディングしているかを見せればよいと思う。全部につながらなくてもいいが、スピード感を考えると、どこにグラウンディングしているかをつかみ、やれるところを認識しておかなければいけない。グラウンディングというのは、どこと結び付いて、誰が動くのかというのを明確化するという意味で、都合のいいことに、これは行政の単位で分かれているおかげで、どこが動くかが分かる。</p> <p>そういう意味では、どんなワーキングを回していくかというのは、この会議できちんと出していきたいので、その議論もしたい。行政の縦割りはきれいにサイロ化された図になっていると思う。横串といっても、何か一つのことをやろうとしたときに、複数のところが協力しないといけないというところを意味していて、横串だからといって、全部に刺さらないといけないわけではないと考える。</p>
委員	<p>会長がおっしゃったように、私もこの9ページのビジョンに向かってどのようにプロジェクトを進めていくのかが課題だと思う。</p> <p>この前、沖縄で女性活躍のグループの会議があった。この会にも女性が2名いらっしゃることもあり、女性活躍という言葉は必要な気がする。沖縄の場合、個人事業主は女性の方が多く、その人たちが色々な課題を解決する中で、施設を造ってみたり、自営を試してみたりする。加西市でも、きっと才能を持った方など、いろいろと起業されよ</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>うと頑張っているママさんがいる。そういうものをここで落とし込めていけたら、もっととっつきやすくなるのかなと感じる。</p>
<p>会長</p>	<p>3割を超えた女性の参加というのは、実践しないといけないと思う。今後、この協議会の組織づくりの中で女性の割合をしっかりと取っていくというところをここで決めておけばいいような気がする。</p>
<p>委員</p>	<p>普通の主婦の人、おじいちゃん、おばあちゃんなど、一般的な人たちにずっと入る形に最終的には持っていけないといけないということは常に頭にある。今からやるべきことや、課題感がいろいろ見えてくると思うが、会社でもスマートシティ推進会議って何をするのかという質問が返ってくる。自身もなかなか言葉でうまく説明できない。まだその段階で思考が止まっている。最終的に何かしらのソリューションや、教育など、いろんな形に落とし込まれていくとは思っているが、どうやってそこまで運んでいくかなというのが難しい課題。</p>
<p>会長</p>	<p>確かに少子化とか、ないものねだりとか、これまでと同じことやっていたら駄目だと思うし、これまでと同じ人の考えだけでやっていたら駄目だと思う。女性が足りないのであれば女性、もしかしたら子どもも入れて会議したほうがいいのかもかもしれない。ご高齢の方や、障害者の方にも入っていただくなど多様性は本当に大切だと思う。協議会の形として、何らかのクォーター制みたいなものを導入するのは賛成したい。</p>
<p>委員</p>	<p>私は1人で郷土料理のかしわ飯を販売しているが、正直デジタルに全然ついていけない。手作りで全部昔のやり方でやっている。以前、話があったデリバリーとかも今はあるかもしれないが、1人で納品している。高齢者の方とかになじみのある味付けの郷土料理を作っているので、届けられたらと思っている。</p> <p>私自身もスマートシティという言葉があまりピンとこない。私は専業主婦から起業した。子どもに何しに行くのか聞かれたが、全然説明できなかった。代わりに加西市に遊園地を造ってくれということ伝えてほしいと言われた。そうしたら子どもは集まると思う。</p> <p>市民側の意見からすると、この絵（P11）も分かりにくい。スマート農業とかが足りてないという印象が強い。私は兼業農家なので米も作っているが、デジタル農業とかではなくて、農機を購入してペイしなければいけない。やはりデジタルについては私自身もついていけない。それも何とかできたらと思っている。</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	<p>申し上げたように、新しい技術とかを入れるというのはすごく重要で、ITとかDXでデジタル技術というのは、その中の一つの手段だと思う。手作りで農業やられていた方が、委員からいろいろ教えていただいて、新しいフェーズに行き労働力をうまく集められるように解決策を手に入れるなど、そのようなワーキングをつくっていただければよいと思う。</p> <p>また、イメージ図に遊園地は描いてないが、農業もあまり描かれていない。せっかくあるものづくり系もあまり描かれてないというのは、最初にこれを見たときの印象である。これに引っ張られる必要はないが、これも背景なので、やりたいことをきちんとイメージして、背景との関係をつくればよいと思う。</p>
委員	<p>私も委員の意見に賛成である。この加西市の将来について失敗すると、大げさかもしれないが、ひょっとしたら加西市は終わってしまうのではないかとというくらい重要な課題なのではないか。これからも避けて通れないため、加西市民全員がこれに興味持って、全員で取り組むぐらいの勢いがないと、今までどおりの流れで終わり結局うまくいかなかったという風になる。だから、もっと市民を巻き込む動きをしないと、行政や我々だけでやっている、何やっているのかわからないような形で終わってしまう。いろんな人を巻き込むってところは真剣に考えないと、成功しないのではないかと感じる。</p>
委員	<p>みんなを巻き込んでいこうと思ったら、自分にとってのメリットがどこかということにみんなフォーカスすると思う。それを考えたときに、この間の委員の素晴らしい農業の話がすごく分かりやすいと思った。</p> <p>あるコンビニの配達では2,000円分使ったら1,400円分が返ってくるらしく、非常に大盤振る舞いだなと思った。やはり自分にとってわかりやすいメリットがあると、このアプリ使う意味があると皆が入っていくと思う。課題解決などアプローチするとき、そこに対して人がいないと何も成立はしてこない側面があるので、どうやって巻き込んでいくかを意識してやっていくべきだと思う。</p>
委員	<p>具体的に市が何をどうすべきかを、分かりやすい形で出せるかだとは思っている。その優先順位は考えていかないといけない。既に持っている加西市の強みをまず整理し、その強みを生かして、10個の課題の横の連携がどうすれば取れるかを考えると、投資をあまりしなくてもできることは見つかるのではないかと。例えば、農業、教育も全然素人で分からないが、STEAM教育であれば兵庫教育大学と学生とのつながりで</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>「こういう教育をやっています」ということを市のホームページにも載せられている。例えば大学と企業と学生みたいなところの3者が連携するような形で、コラボで研究が進み、その一環で教育も進めていくなどあると思う。また、農業とか、教育をつなげれば、教育分野の子育てとの繋がりや、農業分野の研究、そしてそれをアウトプットしていく中で、加西市ではこういう農業をやるということが訴求できたりすると思う。</p> <p>また、観光的な側面の繋がりも考えるなど、これらの強みを整理して、複数の効果を出すような整理はやってよいと思う。例えばバルーンが有名であるなど、いろいろあるとは思いますが、先ほど野生化という言葉があったが、置き換えると体験型みたいなところとかを、前に打ち出せると思うので、そういう整理も考えられる。</p>
会長	<p>私も気になって、事務局に聞いたが、これだけ課題（分野）があると、協議会で全部動かすのではなく、優先順位をつけ、いくつぐらい動かすのかということころはすごく重要。費用対効果が高いところは、やはり重要だと思うし、人がついていてすぐ動けそうなところも、また重要だと思う。きちんと種を拾い、埋めておく作業はすぐに動くための人がついていてところだと思う。また、今の意見みたいに、費用対効果がありそうで、強みを生かせそうなところも、入れておけばいいのかなと思う。資料の後ほど、実際に協議会、ワーキンググループをつくって、動かしていく話は出てくると思うが、大体3つくらいで進め、継続的に動かしていかなければ沈んでしまうので、必ず象徴化させていくイメージでいくのかなと考える。</p>
委員	<p>優先順位は大事と思う。いきなり10個をこのメンバーで動かすのはほぼ不可能に近い。やはり3つぐらいに絞って、3つとも成功させて、それに後付けしていく状態が、市民にも一番伝わると思う。</p> <p>高齢者が買い物に行きにくいという手段のなさが書かれているがなぜないのか。先ほど言われたように、逆から考えていくことはとても大事。問題がはっきりしているのになぜそれができてないかを考えればいい。高齢者が買い物に行く手段のなさは、バスの本数が少ないということ。なぜ人が少ないのか。給料を払えば人が増え、その分多くの本数を走らせる。街で多く電車が走っていることは、利用客が多いためであり、利用客が少ない加西市自体でそれをしようと思うと、財源が必要になる。加西市は沈みかけていたが、ふるさと納税のおかげでここまで立ち上がってきた。あぐりーど玉野もふるさと納</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>税の返礼品として米を出している。農協に出すよりはるかに高い値段で出せ、お客さんからしたら安く手に入れられる。</p> <p>加西市ではお米で一番を取りたいということでふるさと納税の担当者が来た。今年からお米を出したが5トンが5日ぐらいでなくなった。来年度は70トンとか出すことを検討しており、ふるさと納税額にしたなら、1億円ぐらいになるかもしれない。そうやって農業が頑張っただけでふるさと納税を出し、その財源を福祉のほうに回す。そういうことをすれば全てが潤う。</p> <p>先程言われた、縦の関係ばかりではなく横の関係も持つやり方をすれば、農業と福祉とかもくるくる回るのはないかと思う。そうしてバスの本数が増えたりとかすれば、目に見えて分かるので、この会の意味があったのかなと思える。そこからあとは、後付けしていけばいいと思う。少し先になるが地域活性の予算をつけるとか、エネルギーをつけるなど。行政のDX化を後付けしていけばよくなると思う。</p>
会長	<p>財源の話が出たが、財源はどういうふうに考えていけばいいか、事務局から説明をしていただきたい。次年度以降の協議会がやる実証事業の財源について。</p>
事務局	<p>財源という前に、先ほど、ふるさと納税の話がでたが、今のところ2、3割減収という状況で、5つの無料化は続けるとして、元になっていた財源自体が減少傾向にあるというのは理解してもらいたい。お金を出したらバスが増えるというふうな話があったが、まずバス会社に運転手がない状況で簡単にはバスは増便できない。増やしてほしいと言っても、こちらを減らして、こちらを増やしましょうというのが現実的な状況である。</p> <p>先ほど言われたように、お米は上がっていて、関東の自治体ではあきたこまちを作って、米が一番売り上げが良く年間100億になった。農家を作る銘柄と値段と、あとは戦略的に考えている。農業でも目的を持って作物を選んで売っていき、加工に投資ができれば、一定の売り上げは上がり、納税は増える。</p> <p>財源については、交付金などを活用しながら、その上でふるさと納税を活用する。皆さんから出たご意見を具体化していく中で、どのような形で財源を取っていけるかというのを検討していく。</p>
会長	<p>バスの本数をどうやって増やしていくかは、テクニカルな話なので、それは専門家に任したほうがよいが、例えば来年度以降、実証実験をやっていくのに、当面必要なお金はあるのか。</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	はい。
会長	<p>実証されたものを事業化していくってことで、増収が見込めたり、人口が増えるのが見込めたりしていく夢が持てないといけない。人が集まりみんなが夢を抱けるものの中で動かせるものを三つ、四つ、種をまいて、それを動かすことぐらいはできると思って、われわれ話をすればよいか。</p>
事務局	はい。
委員	<p>どの位の規模を考えたらいいかと、最初から気になっていた。足元の課題によると思うが、お金のことを気にしていて、やるといっても金がかかる。それがどこから出るのかわからない。民間の事業者として投資する話なのか、どう考えたらいいか。</p>
会長	<p>個人的には大きくやらなくても、成功したところが一つあればいいと考えている。例えば、委員の話に乗って誰か一人でもいい目を受けたら、委員が言われたみたいに、とてもよい話になる可能性が高い。成功した例が一つでもできれば、それが100カ所でできなくてもいいと思う。だから、スケールはそんなに考えなくてもいいのかなと思っている。</p>
委員	<p>ちなみに、デジタル的農業は動いている。何十軒、農家を集めて、それで収益を上げていくことを考えてきた。</p>
事務局	<p>補足すると、例えば委員がされていることは、農政課がサポートすれば、一つの形が生まれて育つ絵が感じられる。そこに多分、土木や教育委員会が関与する絵があまり浮かばなかったが、委員が言われていた横串とは、農業と言っているが実はその農業自体を教育現場にしてしまおう、そしたら学びの場になり、野生の体験とかが生まれる。でも、それをどのように学びの評価をするのかとなるとデジタルの力があるのではないかと考える。そのように言えば言うほど大きい絵に聞こえるので、誰のお金で、一体どのくらいの規模でやるのかという課題がある。</p> <p>また、いつ頃、実現するのか。2030年に実現というのがミライナカ計画にはあるが、2030年でいいのか、もっと手前でやるべきなのか、来年、再来年にはどんどんやるという話なのか、今生まれた子どもたちが大人になったときに、ちゃんと生きていけるような社会をつくるべきだから、30年計画ぐらいに見立てるべきだとか。皆さん、それぞれのイメージがあると思うので、どの辺をやるべきか、どのくらいやりたいかということ。皆さん、それぞれに自分がやるなら、30年先の</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>ために今、必死に頑張るというよりは、できれば3、4年先の少し現実味のある期間でやりたいという方もいると思う。いや、そうではなく子ども、孫ぐらいが幸せなる話ではないと自分は生きている意味がないという100年計画ぐらいに思われる方もいる。それは一人一人の感覚によるが、時間の話があまりされてなかったかなと感じた。この議論を進めると優先順位の話につながってくると思う。</p>
委員	<p>そこに合わせて、追加で質問したい。こういう質問の仕方をする、委員 VS 事務局みたいな構図になりそうなので遠慮していたが、ミライナカ計画の取り組み内容の10分野について、現在進行形で種をまいているとか、既にアーリーステージであるとか、もう動いているといった進捗度合いについて、事務局はどのように捉えられているのか。</p>
事務局	<p>事務局から感覚的な部分になるかもしれないが一つずつ説明する。10ページを確認していただきたい。</p> <p>健康づくりという部分に関しては、健幸アプリを主軸に取り組んでいる。長寿介護課においては見守りなど新しく始めた部分としてある。この部分はある程度、取り組みが始まっている領域だと認識している。ただし、委員からもご指摘あったように、十分かという点、全く十分ではない。</p> <p>行政DXについては、窓口やオンライン申請、マイナンバーカードをどう活用するのか。一方で、自治の部分として行政のシステムも含めて今年度、「かさいライフナビ」を導入した。防災機能を強化していこうと進めているところ。地元の負担を減らすために、町内放送に替わってライフナビでの配信というのも行っている。こちらもある程度、手掛け始めている部分であるが、まだまだ当然行政の関わる部分であると考えている。</p> <p>地産地消エネルギーに関しては、環境課で地域エネルギー会社をつくろうと動いている。その中でデジタルをどういうふうに取り込んで、実際の環境意識を変えるために、デジタルでどのような仕掛けをつくるのかというところはあまり進んでいない分野だと考えている。</p> <p>モビリティの物流改革というところはデマンドタクシーがあるが、電話で呼び出すという形でやっている。高齢者に向けたもので電話のみの形をとっており、あまり進んでいない分野と考えている。</p> <p>地域貢献活動とはコミュニティの活性化で、加西市にみんながオンラインで集まる場所はない。子育てママさんのオンラインコミュニティがあるのかというと、公式にはできていない。地元の人たちが活</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>動するボランティアポイントみたいなものも含めて、まだまだ準備が足りていない分野と考える。</p> <p>新しい地域経済の循環は産業の分野になる。デジタル化フェアも含めて、地域企業の底上げというのを取り組み始めた。これは産業課や商工会議所で進めている。</p> <p>スマート農業につきましては、委員の話の通り進んでいるところもあるが、そうでない部分もあるというのが実情。</p> <p>加西ファンづくり、観光については、インターネットやメタバース的なものを活用した観光、あるいは LINE を使った sora かさいのファンパスポートを実施している。ただ、劇的な成功というところまではまだ至っていないので、模索しながら取り組んでいるという認識である。</p> <p>子育て支援に関しては、子育てのアプリを昨年新しく運用開始した。オンライン相談というのも今年度から始めている。</p> <p>最後が教育の人材の育成という部分。ここは加西 STEAM というものを、ここ数年取り組みを行っており、県内においては、加西市は先進的にいろんな取り組みを行っている自治体というふうには考えている。</p>
委員	<p>了解した。</p>
事務局	<p>少し補足すると、多分、地域の居場所づくりというのがある。居場所づくりで、例えば活性化のために若い子どもや高齢者が行きたい場所ができることで、行きたい場所に向かうための交通機関が必要になるということも一つのストーリーではある。行きたい場がそもそもない人が、世の中ほとんどなのかなと。行き場がないので病院に集まったりする。先程、遊園地という言葉が結構刺さったのは、子どもたちも同じだと思った。行きたい場所が加西だとイオンぐらいみたいになっており、よく分からない集まり方をしている。もっと行きたい場があれば、そこにみんな行きたくなるし、行きたいっていう欲望があれば、行く手段は工夫する。遠くでも自転車で頑張る人も、歩いて行く人もいる。そもそも、欲望が発生されるぐらいまでの何かがないのではないかと思う。</p> <p>実はこの 10 個の中には行きたい場づくりはない。取り組み 10 分野と書いてあるが、これは市役所がまとめた箱であり、この箱に縛られる必要はない。こういう箱がないことが問題、新しい箱であれば自分</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>がやりたいという考えがあるなら、そのほうがずっと価値があると思っている。</p> <p>不十分な10個から3個に絞るということを思うぐらいなら、新規に見出した方がよほど魅力あると思う。その辺のレベルでご意見をもらいたい。他の人は知らないが、私だったらこれやりたいとか、そういうのがあればありがたい。</p>
会長	<p>私が言った3つというのはこの10個の中からということではない。事業が（10分野の）下にグラウンディングしなければ、上の方に（分野を跨って）グラウンディングするということ。</p>
事務局	<p>最初は少し抽象度高い言葉で、いったんやってみてよいと思う。遊園地っていうのはさすがに本当に遊園地造るわけではないと思うが、遊園地という言葉は意外と刺さりやすい。誰もが行きたくなる遊園地を加西市に造るという大きな絵が描かれても、面白いと思う。</p>
委員	<p>子どもの意見は大きいと思う。大阪だったらUSJがあったり、そういう所に憧れるのかと思う。</p> <p>フラワーセンターのライトアップなどすごくいいと思う。結構、お客さんも、観光の部分にも魅力ではないか。</p>
委員	<p>ちなみに、統合後の小中学校の使い方は、何か少し進んでいるか？</p>
事務局	<p>今、西在田と日吉、それから宇仁などでももちろん協議会で話し合ったりはしているが、具体化はこれからで、日吉小は校舎の耐久性の問題があるため取り壊し、宇仁小は民間利用を目指しているところであるが、地元からも使用方法については要望がある。</p>
委員	<p>ここで話すようなことではなかったかもしれないが、そういうことも含めて、イメージしていてもいいと思う。</p>
事務局	<p>それをご提案いただいたらいいと思う。</p>
委員	<p>先程聞いていて思ったが、ここで出た案と既に動いている施策がトレードオフの関係だと嫌だなと感じた。そこは気を付けないといけないかなとは思う。</p>
事務局	<p>出すだけ出していただいた上で、重なるようであれば事務局側で検討する。</p>
委員	<p>ちなみにその廃校跡の話で、神河町の越知谷小学校を米屋さんが買い取った。国からの補助金を活用し20年間の契約をして、今グランピングをしている。結構いい値段で、予約は結構埋まっている。そこでスマート農業の施設を造ったり、そこに人が寄って来るような仕組み考えるのは良いかもしれない。グランピングをしながら農業も楽しめ</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>て、この肉は、ここで作った餌を食べていると PR し、手広く囲い込みながら実施している成功事例もある。</p>
委員	<p>友人が京都でグランピングの運営会社をやっているが、善防中学校をぜひ使わせてほしいと問い合わせがあり、タイミングが合うなら出すつもりという話をしていた。</p>
事務局	<p>今年酒造りがユネスコの無形文化遺産になれた。例えばそういう場所で、日本酒を造る。稲から全部見て、酒造りまで体験できるなら、多分、日本人より外国人の需要が高い。5万、10万払って体験ツアーを実施する。そういうビジネスを考えるのも、若干デジタルから外れているが新しい活動でいけるし、その中に何とかデジタルの要素を入れればよい。例えば、デジタルマーケティングを交えて、こういう人にリーチするなど、デジタルだということにはなるとは思う。東京に住んでいる人の正しいペルソナをつくれればいいと思う。ペルソナづくりのためにデジタルでさまざまなデータを集める。ペルソナづくりプロジェクトからこのスマート新プロジェクトへとつなげていく。ペルソナが出来上がったら、日本酒ツアーだったらいけそうかなどの実験ができる。シミュレーションができると思えば、ものすごいポテンシャルはあると考えるのもありだと思う。一見ずれているけど、デジタルに引きずり込むこともまたありだと思う。</p> <p>サステイナブルは自然環境へのサステイナブルもあるが、ビジネスでもサステイナブルであるということは重要。補助金は1年か2年で終わるので、その切れ目で終了となるよりは、小さくてもきっちりやれるものをつくれる方が良いと思う。</p> <p>ただ、今日のこの議論で重要なポイントの一つが、どんな名前で進めるか、どのようなワーキンググループを3つぐらいやるのかということ。交通はとても重要だけど、自分たちとしては今のところ手の出し方がピンとこないから、他のメンバーに託すのもありだと思う。</p> <p>この会議体の最大の弱点はリソースが限られているということである以上、その中でできないことをいくら描いても、多分誰もやらない。誰もやらない絵を描くぐらいなら時間の無駄なので、やる絵を描いたほうがよほどいいと思っている。</p> <p>自分、もしくは自分のすぐ知っている範囲で切実に感じている領域というのは優先順位を付けるところに寄与すると思う。</p>
委員	<p>ちなみに人的リソースは、基本的には年度単位で考えるのか。例えば、途中で足りないとなったら、途中でアサインされてやっていくのか。</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
事務局	<p>巻き込んでいくというのはありだし、本当は向こうから「面白そう」と思って、加西はなんかワクワクするからやらせてほしいと、来てもらえるぐらいのテーマが並んでいるというのが一番いい状態。来年度は呼びかけて、来てくれる人たちが増えていくことは大事。また、市内からももっと来てもらいたいし、北条高校の高校生たちがいてもいいと思う。協議会になったときには、堂々と40年後のこの町に住みたいと言い切ってくれたりすることを期待する。</p>
委員	<p>先程、事務局から取り組み10分野についての説明があったが、それを行っているだけなら、この議論は不要と考える。どうぞ進めておいてください、というだけなので。推進会議つくって、来年度か再来年度には協議会をつくるというのは、まさに市役所だけではリソースが全く足りない、大きなことをやろうとしているということだと考える。</p>
事務局	<p>市役所には課という壁があるが、壁をぶち破って間の中途半端な場所をやることになる。</p>
委員	<p>かつ、協議会というからには、市役所だけではなく、公民連携で、市民も含めて、多様な主体を巻き込んで推進しなければならない。チャレンジしようとしている課題が難しいので。</p> <p>難しくて大きな課題であるため、行きたい場所をつくるというのはとても大事。みんなが、市役所の職員だけではなく、市民も事業者も、なるほどね、面白いね、自分もやってみたい、というように思わせるような、何かを掲げる必要がある。それがビジョンだと思う。その議論をきちんとなしないと、来年3つぐらい何かやり始めてみるという議論ができない。次回の推進会議で3つぐらいの柱ができるのか。</p>
事務局	<p>時間的には理想はそこだったが、そんな簡単にいかないのも事実だとは思う。</p>
委員	<p>それをやろうと思うと市民の意見を聞かないといけないと思う。</p>
事務局	<p>今、言われていた、行きたい場所の話は、2種類ぐらいが混じっていたように聞こえた。USJとか遊園地のような空間や、未来のような抽象的な意味として。</p>
委員	<p>具体的な場所や、どこかの廃校を活用して非常に面白いことをやる、ここでいろいろビジネスもできるというような話をつくり、それが一つプロジェクトとして走り出すというようなことは、あってもいいと思う。そういうのが2つ3つあって、まずはこれで初めてみるということにして協議会が始まるというイメージ。その2つ3つが一体</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>何なのか全然定まっていない。現実の話として創りたい未来があればある程度整理して、3つぐらい事務局が示すことだと思う。現段階ではそれぐらいしかできないのではないかな。</p> <p>ただ、本当は市民の意見を聞いて、市民の声としてもこの3つをやりたいと絞れてくれば、一番いいと思う。そこがないから、我々で議論していても始まらないと思う。</p>
事務局	<p>究極の理想像という話と、現実解として妥協の案との間は、まだ結構なギャップがあるのはご指摘のとおり。</p>
委員	<p>そのとき、デジタルの話はいったん除外していいと思う。デジタルは絶対絡ませられるし、要は本源的需要をつくり出して、デジタル使おうとか、バスを走らせるとかは、全て派生事業だろう。行きたい場所があれば、創りたい未来があれば、デジタルは使うし、バスは走らせることになると思う。</p>
事務局	<p>先程のお話で、廃校跡というのは、ワードとして想像しやすい。</p>
委員	<p>分かりやすいと思う。市民がなるほどと思えるような所なので。すごく抽象的な理想像を語っても、ピンとこないので、ここにこういうものをつくるという具体的な話を。</p> <p>15年ほど前に原始人会を訪問させてもらったことがある。あのような活動が一つ念頭にある。</p>
委員	<p>原始人会から相談があって、送迎バスを運行してほしいので観光課に相談にいった。先程、子どもが遊園地を作ってくれという意見があったが、高齢者にとっては温泉などもなくなり、お金はあるけど行く場所がない。そのため、女性ばかりで集まってカフェに行き、よくランチをしているようで、口コミ情報を教えてくれる。このあたりが生きがいというか、健康づくりにイコールになる。健康寿命を延ばすというのはある。</p> <p>加西市の人は車社会で生きているので、バスにも乗らない。原始人会も行きたいし、温泉やカラオケも行きたいが送迎が必須。ほとんどの高齢者の方が、そうおっしゃるのでこれは現実なのだなと思う。</p> <p>介護福祉となると少し暗いテーマになっていくが、健康な高齢者を増やすには、楽しみが増えた方がいいというのがある。たまたま原始人会から相談にいられて、あのあたりにいろいろ造りたいらしい。そのため、バスで送迎するような仕組みをつくってくれないかという相談が2か月前にあった。</p>
委員	<p>面白いことやって、結果として健康になればいいという話ですね。</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
委員	<p>市民の意見を聞くのは理想なので、行政の方はそれを言うことになる。ただし残念だけど加西市民は、リテラシーが不足しているところがある。ジャズもロックも知らない人に、好きな音楽を聞いてもジャズもロックも出てこない。ジャズやロックとか、レゲエとか、いろんな音楽教えて、どの音楽がいいのかを言ってもらって初めていろんな音楽が出てくる。選択肢が少ないのが今の加西市の現状だと思う。ロックやジャズを知っている人から、こういう音楽があるというようなを見せていく必要はあると思う。それがたまたま、このようなスマートシティ推進会議だとか、協議会なのかかわからないが、アイデアがある人たちがプレゼンをし、事業化してみようとなるものが出てきて、それに乗っかってくる人が出てくるのが、協議会の理想像かなと思っている。</p>
委員	<p>先程出た廃校跡の使い方とかでも、どうすれば興味を持てるか、自分たちのまちにそれができて、何のメリットがあるかを考えさせることが必要だと思う。前から案として持っていたのは、それ自体を法人化して、株式発行して投資してもらおう。市民からお金集めて投資してもらおう。株主になってもらい、運営して、人がたくさん来るようになれば、今度は配当が出るなど。</p> <p>クイックデリバリーの件で面白いのは、買い物難民対策について、デリバリーする車を国とかも補助金出しているが、使い道がフードトラックだったりすることが現状だと思う。そういうことではなくて、メリットを感じる人は、絶対そこに対して協力してくれるはずである。お金で考えるアプローチが良くないように思われるけど、儲かるというテンションで興味を持つことはある。私はその視点で考えるのが、結局一番興味を引くし、意味があるし、経済も回るのではないかと考えている。</p>
委員	<p>山口の高齢者介護のデイサービスで、施設内の通貨でマージャンができる所があり、非常に頭が活性化するらしい。それと一緒に、お金が絡むというのは、とても刺激になると思う。</p> <p>タックスデモクラシーというものがあっていいのではないかなと思っている。公共的に使うものに自分で投資をして、自分でお金を払いながら、その行き先も自分の意思を通せるという意味。例えば、公益法人なのか、一般社団法人なのか分からないが、自分が出資した分の投票権があり、それに対して事業投資に回して、利益が上がってくるとか、まちが活性化していくというようなモデルができれば、デモク</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>ラシーの次の段階に入っていけるといったように、そういったことが実現できたらいいと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>そろそろ時間がなくなってきていて、今までの話をまとめると、魅力的な居場所づくりを目指せば全てのものをつながるというのが、大体分かったような気がする。この場所で何をやるのかを考えると、その場所にどうやって行くのかを考えると、その場所で何を学ぶかを考えると、その場所と農業がどうつながるかとか。それだけでワーキンググループができてしまう気がする。</p> <p>これでいけるかどうかは分からないけど、市民の意見まで求めなくても、ここにいる方々が合意できれば、ワーキンググループの芽は見えてきたかなっていう気がする。</p>
<p>委員</p>	<p>ある程度、世代層とかでターゲットを2つか3つぐらい絞って、例えば、子育て世代向けに行きたい場所をつくるか、健康な高齢者向けに行きたい場所をつくるか、整理していくことで方向性が出るかなと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局との相談だが、4回目までの間で具体的に事務局から人を選んでいただいて、個別に相談していただき、こういう種にしたいという案を作ってもらおう。それを4回目のときに披露して、みんなでまたディスカッションするっていうような形はいかがか。プレーヤーも大体見えてきたような気もする。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員も言われていたと思うが、人のための組織のデザインの整理から落としてつながってないと、動かないのだろうという話はごもっとも。結局はどれを軸にするかを決めることを先にやりつつ、その人たちがきちんとやれる場（組織）をつくる必要がある。</p> <p>そういう人たちが活躍しやすい、活動しやすい場が、さらに行きたい場になれば動くという話だと思う。しかも、そこに対して誰がお金を出すかということも、それがあとうれしいと思う市民自体が投資するビジネスモデルまで考えられたらいいかもしれない。</p> <p>委員が言われていた、その利活用案をこのメンバーだけで考えるのではなく、例えばお化け屋敷を造りたいといったようなモデルを提案してやりたいという人が現れるといいと思う。</p> <p>言語化できてない部分はまだあると思うが、あまりきれいに整理し過ぎると、また今日の最初みたいに役所的だと言われかねない。手ごろな荒さでまとめるのが、本当は理想なのではないか。</p> <p>スピード感はとても重要な話であり、じっくり考え続けると言われると、関わっている人がいなくなってしまう不安がある。</p>

発言者	会議の経過 / 発言内容
	<p>ワーキンググループは3つというわけではなくて、行きたい場づくりのために、ペルソナや世代などで分け、例えば子どもたちが行きたい場づくりというワーキンググループなど、もう少し絞った形で深めていくほうが面白いかもしれない。複数世代をワーキンググループごとに分けるということもあるかもしれない。</p> <p>また追って考えるという絵があってもいいと思う。すぐ動けるとかやりやすいというのと、強みというところにうまくつながっているのかどうかの検証について、意見交換はまだやらなければならない領域だと思う。本当の強みは何か、まだ分かってないと私は思っている。意外と皆さんが言われた、空が広いということは、たぶん誰も強みだとは思っていなかったのではないかな。そういうふう新しい強みを自己発見する活動としての、第4回もあってもいいのかなと思う。</p>
会長	<p>人や場所が決まっていくことというのが大切だと思われ、やりやすいか、すぐ動けるかっていうことを決めるファクターとなると思う。</p>
事務局	<p>(3) スマートシティ 推進組織の概要 (資料 P16~20) の説明</p>
会長	<p>事務局からの説明は以上で、先程のような具合で進めていくので、お声が掛かった方のご協力いただきたい。</p> <p>議事が終了したので、事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>3 その他</p> <p>次回は、2月26日14:00から加西市役所で開催する。</p>
大賀 CIO 補佐官	<p>閉会</p> <p><加西市CIO補佐官あいさつ></p> <p>本日は、ありがとうございました。</p> <p>最終的にこのまちとして、何やったらいいのだろうかとか、どの辺をやりたいたとかが見えてくるところまで話が発展した。ホワイトボードに書き出すと言葉と言葉がつながっていき、整理できて、無事少し前へ進んだと思っている。</p> <p>若い人をどう巻き込むかとかのアイデアとかも、思い付いた瞬間に忘れないうちに言うておくという形にしていきたい。そのために、Teams という形で掲示板を作っている。まだ、参加登録は半分ぐらいなので、是非皆さんにもご参加いただきたい。私の作った曲も載せており、著作権は私にありますから、加西スマートシティの歌をぜひ聴いてほしい。</p>